

# きかいたより



タイトル 「書道家 茂住菁邨氏による高校生ワークショップ」  
 参加者：斐太高校書道部 撮影日：令和4年6月18日

**第48号**  
 2022年8月1日  
 発行

題字 久々野小学校6年生 江崎璃菜さん

久々野小学校6年生から31点の応募をいただきました。



## Contents

- P2** 4・5月臨時会の報告  
 ・議長・副議長抱負  
 議案審議
- P4** 6月定例会の報告  
 議案審査  
 一般質問
- P10** 活動報告  
 ・閉会中の委員会活動  
 ・委員会の紹介  
 ・政務活動費の報告
- P14** 地域別市民意見交換会
- P16** お知らせ・活動報告

**表紙の写真を  
 募集しています!**  
 詳細は裏表紙を  
 ご覧下さい。

## 議長抱負 すいもんよしあき 水門義昭



5月11日開催の第4回臨時会にて歴史と伝統のある高山市議会議長を拝命いたしました。平成28年度に次いで議長は2回目となりますが、前回同様に責任の重さを強く感じております。

前回の議長就任時にも抱負を述べさせていただきましたが、私の願いは高山の街で生まれ育ったり、移り住んで育った皆さんが、この街で生活していることに誇りを持ち、街や人を愛し、生涯に亘って安全安心に暮らせるという、住み心地No.1の高山にすることです。次の世代を担ってくれる子ども達に、この高山の街の伝統と文化によって心も体も健やかに、豊かに育むことが出来ること。そして「みんなに夢を」「みんなの夢を」を大事にしたいと思っています。この街はみんなの力でずっと繁栄することが出来る、そんな街なのです。先人が遺してくださった大切な祭り文化をはじめ、まち全体が家族のような心の通った高山の文化は世界に誇れるものだと感じております。「高山っていい街ですね」と街並みも文化も人情も今以上に誇れる街にしたいです。

さて、誰もが経験したことのない新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活は大きく変わりました。市民の皆様におかれましては感染防止対策や傷んだ経済回復対策に苦しんでいらっしゃるだけ早く先が見える日が来ることを願うばかりであります。そういった社会環境の中で市政運営において二代表制の一翼を担う議会の責務を強く感じています。広大な市域におけるまちづくりの責任ある意思決定機関として議会運営を進めてまいります。どうか今後とも高山市議会へのご支援をお願い申し上げます。

## 副議長抱負 たにむらしょうじ 谷村昭次



令和4年度の高山市議会、副議長に選出をしていただきました、谷村昭次です。市議会は「議決機関」わかりやすい表現としては「市民意思決定機関」です。行政機関の提案権と執行権は、議会の意思決定がなければ実行できません。

議会が「良き決断」を行うために必要な「市民の声」は議員にゆだねられる様々な背景とともに、正確で充実した情報のどこに支えられるべきであるのかを、常々吟味しなければならぬと考えています。

「車の両輪」として行政と同じ回転数で加速し、市民の暮らしの向上に邁進する議員像に期待される方々もありますが、その一方では多様な市民が行政関係者への駆動、つまり、それぞれの方向へと動きを与えることに期待をして接近する中で、真に必要とされることは、議会、議員はどの程度のギアを掛けるのかを選別する役割を負う重要度、つまり「アクセルとエンジン・ブレーキ」へと力を注ぎたいと考えています。

この抱負のヒントは私が頼りどころとする、ある行政学者の著書から引用させていただきました。

さらに、「聴く」の語源には、深く聞き重ねる、聞き返すという深い意味が込められていると説明される様に、一度聞いた市民意見の真意や本音を十分に聞き直すことができる議会のしくみについても、新たな具現化を図っていきたいと思います。

## 5月臨時会所信表明会

高山市議会では、市民に開かれた議会を目指すため、正副議長に立候補しようとする者は、議会運営における自らの考え、市民の福祉の増進を図る取組、議会の抱える課題の解決に向けた取組方針などを全議員に示す所信表明会を行っています。今回は、議長候補の水門義昭議員、副議長候補の谷村昭次議員が所信表明しました。この様子はCATV、インターネットで生中継されました。議会では、正副議長候補者が自らの考えを議員に示すだけでなく、中継等を通じて広く市民の皆様にお示しすることで、より議会に関心を持っていただき、議会活動をご理解いただく機会の一つと捉えています。

市議会ホームページ  
映像中継から  
所信表明会へ





## 第3回臨時会 議案審議

3月24日に市と議会で新型コロナウイルス感染症の影響などについての意見交換会を開催しました。意見交換会での内容を踏まえ、4月24日には臨時会が開催され、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急経済対策として補正予算が提出され審議しました。

### ◆令和4年度高山市一般会計補正予算

(第1号)専決処分

6億8百万円

- ・プレミアム付き商品券事業(第3弾)の実施
- ・産業団体等消費活性化策支援事業
- ・雇用調整支援事業補助金の増額など



### ■主な質疑

**問** プレミアム付き商品券事業の第1弾、第2弾では、プレミアム率が100%であったが、今回の第3弾のプレミアム率が50%となった理由は。

**答** 第1弾、第2弾で実施してきた時は、様々な業種に休業要請があったり、市内経済に大きな打撃があったことなどから100%としていたが、現在は、まん延防止措置期間も終了となり、市民生活や観光も徐々に回復してきていることや、ウィズコロナ社会での消費喚起なども検討した結果50%とした。

**問** 今回の第3弾でも市内に本社を有する事業所のみを対象とした理由は。

**答** 新型コロナウイルス対策には、様々な目的の補助金があり、プレミアム付き商品券事業については、市内の消費拡大や資金循環を目的としているため、市内に本社がある事業所を対象と考えている。

## 第4回臨時会 議案審議

5月11日に開催した臨時会では、人事院勧告に基づき、市議会議員や市特別職職員並びに職員の期末手当の支給率の改正を行うための条例改正や除雪グレーダの取得についての議案が提出され審議しました。

- ◆高山市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正
- ◆高山市特別職職員の給与に関する条例の一部改正
- ◆高山市職員の給与及び高山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正
- ◆除雪グレーダの購入

### ■主な質疑

**問** 減額の対象となる職員の数と総額は。

**答** 会計年度任用職員を含め1,184人で、期末手当分として5,200万円、共済費として1,000万円の総額6,200万円の減額となる。

### ■議員間討議

公務員の賃金の引き下げが、民間企業の賃金の引き下げに拍車をかけるのではないかなどといった論点から議員間討議が行われました。

# 6月定例会 議案審査

総務環境委員会  
福祉文教委員会  
産業建設委員会

## 市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の改正

**問** 前回の選挙における選挙運動用のビラやポスターの作成、選挙運動用自動車の限度額に対する平均の使用率は。

**答** 前回の市長選挙での限度額に対する平均使用率は、ポスター作成は約42.5%、ビラ作成は約99.6%、選挙運動用自動車は約71.5%であった。市議会議員選挙では、ポスター作製は43.3%、ビラ作成は89.4%、選挙用自動車は70.6%の使用率であった。



## 地方税法等の改正に伴う市税条例の改正

**問** 住宅ローン控除の適用を受ける条件に変更はあるのか。

**答** 新築住宅と中古住宅では、適用される期間に差があり、新築は13年、中古住宅は10年である。また、合計所得金額が3,000万円以下であれば、住宅ローン控除の適用を受けることができたが、改正後は合計所得金額が2,000万円以下でなければ適用を受けることができなくなる。



## 東・東山線のスクールバスを購入

**問** 更新基準と財源は。

**答** 走行距離が20万キロ以上、購入から10年以上経過したものであるという更新基準と車両の状況から判断している。財源については文部科学省のへき地児童生徒援助費等補助金375万円を活用し購入する予定である。



スクールバス

## 特定公共賃貸住宅の入居者資格の変更による市営住宅条例等の一部改正

**問** 条例改正の趣旨や背景は。

**答** 市営住宅等に入居する際の同居親族要件等において里子を同居親族として認めようとするものであり、市内において対象は現時点で1組1名と承知している。国は里親制度の拡充を促進しており、今改正も里子に係る環境整備の一環としての改正と受け止めている。



## 6月定例会補正予算審査

### ◆令和4年度高山市一般会計補正予算

(第3号)

**2億1千9百万円**

#### 原油価格・物価高騰等関係など

- ・粗飼料価格高騰対策事業の実施
- ・食材価格高騰に伴う学校給食賄材料費の増額に係る繰出金
- ・新型コロナウイルス感染症対策介護職員等確保事業
- ・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の増額
- ・100年先の森林づくり推進に係る関連経費の増額
- ・自家消費型太陽光発電設備等導入事業



#### ■主な質疑

**問** 粗飼料価格高騰対策事業の背景は。

**答** 昨年からのアメリカでのバイオエタノールの需要や穀物需要の増加、また、北米全体で天候不順による乾燥した牧草の不足などにより輸入に頼っている家畜飼料が高騰している。国では穀物の濃厚飼料のセーフティーネットはあるが、粗飼料に対する補助がないため市独自の制度を実施することとした。

**問** 市では、学校給食費の3分の1を補助しているが、今回の食材価格高騰に伴う学校給食賄材料費の増額は、3分の1の助成とは別枠となるのか。

**答** 従来の3分の1の補助は継続し、食材費の高騰の差額を補助する。

### ◆令和4年度高山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

- ・地域外来・検査センターの閉鎖に伴う関連経費の減額

### ◆令和4年度高山市地方卸売市場特別会計補正予算(第1号)

- ・高濃度PCBの含有が確認されず、市場内照明器具の取替えが必要なくなったことによる関連経費の減額

### ◆令和4年度高山市学校給食費特別会計補正予算(第1号)

- ・食材価格高騰に伴う学校給食賄材料費の増額

### ◆令和4年度高山市一般会計補正予算

(第4号)

**1億1千7百万円**

#### 新型コロナウイルス関係など

- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金
- ・新型コロナウイルス対策教育旅行促進事業
- ・原油価格・物価高騰等対策資金融資利子補給金
- ・食材価格高騰に伴う公立保育園給食賄材料費の増額 など



#### ■主な質疑

**問** 公立保育園給食賄材料費の増額は、公立学校の補助と同じくらいの割合になるのか。

**答** 学校給食と同様に、物価高騰分を3%と見込んで算出した。



## 6月定例会

# 一般質問

6月定例会では15人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質すとともに、報告、説明を求め疑問を質すものです。

QRコードから各議員の一般質問をご覧いただけます。  
配信は会議録が調製され次第終了します。  
(タブレット・スマートフォンに対応。通信料は別途発生します。)

## 小中学校給食事故の 対応について

無会派  
上嶋 希代子



**問** 食物アレルギーへの対応ミスや賞味期限切れの食材提供という事故が続けて起きた。事故の原因と対応策は。また、給食センターの大規模化への計画がよりリスクを拡大させないか。小規模化、自校方式の給食センターについての教育長の見解は。

**答** 食物アレルギー対応に増員をした。賞味期限切れの食品提供については、職員2名で点検・確認ができるようにした。給食センターの統合は、合理化だけのねらいではない。小規模施設や自校方式施設よりリスクを減らし、衛生面でも安心が図られると考えている。



## 市営住宅の現状と課題

無会派  
小井戸 真人



**問** 市営住宅も老朽化し、今後整備が必要になってくると考えられるが、市営住宅が担う役割は大きなものがある。市営住宅の現状における課題と今後の市営住宅のあり方をどのように考えているのか。

**答** 現状における課題は、耐用年数を超えるなど老朽化してきている住宅があることや、支所地域において空き室が多い団地があることである。

今後は民間賃貸住宅を活用した市営住宅の設置などについても検討をすすめながら、適切な供給量や配置などを考慮した整備方針を定め、効率的かつ効果的な市営住宅の運営を行いたい。



## コロナ禍での働き方の 改善策

創政・改革クラブ  
岩垣 和彦



**問** 働き方改革がコロナ前から標榜され長時間労働、多様な働き方、雇用形態によらない公正な待遇などが謳われているが総労働時間はほとんど変化がなく、市内労働者の働き方について対策を整えるべき。また市の職員の働き方についても依然、長時間労働は慢性化しており、早期に改善策を示し実行すべき。

**答** 新型コロナで中小企業は深刻な状況に陥る中、テレワークや勤怠システムの導入、DXの推進、無駄な業務の削減を社員と模索し合意形成を図り従業員満足度の向上を図ることが重要。今後も労働環境づくり、市内企業の生産性向上、優秀な人材獲得セミナーの開催、関係機関との連携で市内企業の機運の醸成を図る。市職員の超過勤務は総務課との協議制になっており、勤務時間の上限を定め計画的な業務執行をしている。今後も時間外労働縮減に向けた職場の意識改革、テレワークを活用した在宅勤務、AIなどデジタル技術の活用で業務の見直しも含め職員の働き方改革を一層進める。



御嶽山、国立・国定公園昇格!?  
-保護とエリア活性の好機到来-

創政・改革クラブ  
倉田博之



**問** G7サミット30by30による、国立公園等保護地域拡張が国の方針。御嶽山を対象にする打診が高山・下呂両市にあったと聞いた。

**答** 豊かで貴重な自然環境を持つ当該エリアの検討を要請し、回答した。

**問** 保護と活用の適切なプロモーションが重要で、両市と多様な市民による連絡協議コミュニティを早急に立ち上げるべきだ。

**答** 両市担当部署の密な連絡や市内の活動有志との連携を図っている。組織の構築は改めて検討する。



御 嶽 山

創造的縮小で捉えた高山市の  
持続可能性について

創政・改革クラブ  
中田清介



**問** コロナ禍で社会・経済環境が一変した。八次総後期計画ではこの際、パンデミックの影響を加味した新たな組み立ても模索すべきだ。特に産業経済政策については、稼ぐ力の再構築といった意味からも、今後の指針を早く示す努力が必要と考える。

**答** 各個別計画においても総合計画と整合をとり、産業や地域を担う人材の育成、共助の仕組みや多様な主体との協働等、持続可能性を意識して見直した。

**問** コロナ前に作った計画が骨子として間違っていないという言い方が本当なのか。

**答** コロナ前の予想とは全く違ってきた。個別計画などは特に見直さないと、計画行政の指針たり得ないと考える。



軽度生活援助員派遣に  
ついて

清和クラブ  
松林 彰



**問** 市の軽度生活援助員の派遣は、ひとり暮らしの高齢者や、虚弱な高齢者世帯に高山市シルバー人材センターから会員を派遣し、日常生活の援助を行っている。軽度生活援助員の派遣に対して、民間事業所の参入も市独自の施策として実施するなどの取組についての見解は。

**答** 本事業のニーズの高まりや、現在の委託先であるシルバー人材センターだけでは対応が行き届かないケースが発生していることも踏まえ、引き続き地域による支え合いの仕組みづくりを進めるとともに、民間事業者の活用について検討したいと考えている。



肥料高騰  
早急に必要な農家支援策を

清和クラブ  
松山篤夫



**問** ロシアによるウクライナ侵攻、円安、輸送費の値上がり等で肥料価格が高騰し、農家への影響が出始めている。日本農業法人協会のアンケート結果によると、コスト増を農産物の価格に転嫁できない理由として「農業者側の価格交渉力が弱い」が最も多い。市の状況把握と対応策は。

**答** 生産物の多くは価格が市場で決まるため、農業資材の高騰を価格に転嫁できない。市では、農業資材の高騰が農業経営の圧迫に繋がると考え、納入業者や農家から聞き取りを進め、国や県の動向を注視しながら、市としてできる策を検討する。





## 農山村集落の暮らしと活力について

清和クラブ  
車戸明良



**問** 中山間地域等直接支払制度の「集落機能強化加算」は「営農に関するもの以外」を対象としており、住み慣れた地域で暮らし続けるために、高齢者の見回りや送迎、買い物支援、雪下ろし、配食サービスなど地域の困りごとの解決に活かせるが活用する考えは。

**答** 94集落が対象となり、年間の交付金額は約3千6百万円を想定。この取組は、業務委託や新たな人材確保に支援ができる。まちづくり協議会など他の団体との連携も可能。集落へ周知し、他市の先進地事例の紹介など制度活用が進むよう積極的に取り組む。



## ヤングケアラーの社会的認知度向上を図れ

高山市議会公明党  
山腰恵一



**問** ヤングケアラーは、家族の介護や世話を担う18歳未満の子どもをいう。市の実態に具体的な支援やサポートをどうつなげているのか。政府は今年度からの3年間を認知度向上の集中取組期間としている。市はどう推進を図るのか。

**答** 県の実態調査では、6名の児童生徒が報告されている。ヤングケアラーは、本人や家族に自覚がないなど表面化しにくいいため、各分野が連携し市がパイプ役となって支援につなげている。様々な媒体を活用した広報活動の機会を捉えて認知度向上を進めていく。



## 新しい技術や企画の積極的導入を!

高山市議会公明党  
中 箴 博 之



**問** 市は実績や前例を重視するあまり一歩出遅れるという印象であるが、成長戦略として新しい技術や企画をキャッチする感性と果敢にチャレンジする決断力が求められている。

市として新規参入を望む事業者からのアプローチを受け入れる態勢は十分と言えるのか。

**答** 市民サービスの向上や業務の効率化など、市としてメリットがあるかどうかという観点で、可能性を排除することなく可能な限り事案を聞く場を設定している。

社会の変化は想像以上に速いので、スピード感や柔軟性をもってあたることが欠かせない。



## 食料安全保障と農業振興に市の支援策を

たかやま自民クラブ  
西本 泰 輝



**問** 畜産農家の粗飼料購入助成が補正予算に計上されているが、肥料・燃料・農薬・資材の高騰も農家を直撃しており、早急な支援策を講じるべきである。また、安定した農業経営のため、クリーン農業や自然エネルギー活用に注力し、自給的農家の推奨・支援も行うべきではないか。

**答** 国や県の動向も注視しつつ、肥料などの納入業者や農家にも聞き取りを進めており、早急に必要な支援策を検討する。また、国の「みどりの食料システム戦略」に基づく有機農業等が増える取組や、様々な形態の農家が生き生きと農業を継続できる基盤づくりに努める。





## ハザードマップで 避難ルートの確認を!

たかやま自民クラブ  
西田 稔



**問** 土砂災害防止法に基づく警戒区域等の指定について、市が作成しているハザードマップと県が指定し公示しているハザードマップとではレッドゾーン・イエローゾーンの改定時期に差異があるが優先度についてどう考えるか。

**答** 市のハザードマップについては令和5年度に更新を予定しており、その際には最新の情報をもとに作成するため差異は生じなくなる。最新の情報は県のホームページに掲載されていることを市のホームページや窓口、出前講座等で説明していく。



## 山口型放牧形式の 実証的な試みは

たかやま自民クラブ  
石原正裕



**問** 自給飼料の確立・耕作放棄地の改善・堆肥の利用・景観保全等のメリットを含め過疎化が進む中山間地域の持続可能な姿として、耕作放棄地等を電気牧柵等で囲い、牛を放牧する仕組みを用いた耕畜連携の新たな取り組みである「山口型放牧形式」への試みを提案するがどうか。

**答** 人里地帯での放牧にあたり、放牧する牛への対応や課題もあるが、それを踏まえたうえで遊休農地解消や自給飼料の向上を図るため、地域で主体的に取り組む意欲のあるところへノウハウを提供するなど、実証的な試みに対し連携して取り組んでいく。



山口型放牧

## 卸商業センターの 機能について

たかやま自民クラブ  
笠原 等



**問** 卸売市場と高山卸商業センターの関係性は、建設当時と比べ大きく変化してきている。こうした中において、問屋町全体における土地利用の規制の見直しを進めるべきではないか。

**答** 土地利用規制の緩和のみを目的とした都市計画の変更は予定していないが、将来的な問屋町周辺のあり方については、関係者や関係機関の考えなどを踏まえ、議論していく必要があると考えている。



高山卸商業センター

## 市長退任にあたって (市政12年間の思いについて)

たかやま自民クラブ  
橋本正彦



**問** 12年間支えていただいた、市職員、亡き理事、副市長に対する現在の思いは。

**答** 公約を概ね果たすことが出来たのも、職員の皆様の市民の負託に応えようとする高い志と実行力があってのことであり、心から感謝している。

長年私を支えていただいた亡き理事の功績に深く感謝するとともに、市政への熱い思いを次代の職員に引き継がなければと強く思っている。また日本一広い市域の副市長として、大変な気苦労があったと思う。12年間多岐にわたる事業を実施できたのも副市長のご努力の賜物であり、感謝している。



## 6月定例会 上程議案一覧表

6月定例会に上程された議案及び議決結果は次のとおりです。

### 市長提出議案

議案番号	件 名	付託委員会	議決結果
報第 5号	損害賠償の額の決定の専決処分について	—	報告終了
報第 6号	令和4年度高山市一般会計補正予算(第2号)の専決処分について	—	報告終了
報第 7号	継続費繰越計算書(一般会計)について	—	報告終了
報第 8号	継続費繰越計算書(水道事業会計)について	—	報告終了
報第 9号	継続費繰越計算書(下水道事業会計)について	—	報告終了
報第10号	繰越明許費繰越計算書(一般会計)について	—	報告終了
報第11号	事故繰越し繰越計算書(一般会計)について	—	報告終了
報第12号	繰越計算書(水道事業会計)について	—	報告終了
報第13号	繰越計算書(下水道事業会計)について	—	報告終了
議第43号	高山市議会議員及び高山市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決
議第44号	高山市税条例等の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決
議第45号	高山市手数料条例の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決
議第46号	高山市営住宅条例等の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決
議第47号	財産(スクールバス)の取得について	福祉文教	原案可決
議第48号	令和4年度高山市一般会計補正予算(第3号)	予算決算特別	原案可決
議第49号	令和4年度高山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	予算決算特別	原案可決
議第50号	令和4年度高山市地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)	予算決算特別	原案可決
議第51号	令和4年度高山市学校給食費特別会計補正予算(第1号)	予算決算特別	原案可決
議第52号	農業委員会委員の任命について	—	同意
議第53号	令和4年度高山市一般会計補正予算(第4号)	—	原案可決

## 6月定例会の議案賛否

6月定例会の提出議案における各議員の賛否は、いずれも全員一致で可決・承認・同意しました。

## 議会閉会中の委員会活動

### 産業廃棄物最終処分場計画調査特別委員会

#### 荘川町の建設計画地の現地調査について

産業廃棄物最終処分場計画調査特別委員会では、4月27日に荘川町の産廃処理施設計画地の現地調査を実施しました。

当日は、荘川町の対策委員の方に事業者が申請した事業計画に掲載されている別荘地周辺の建設予定地を案内していただき、図面等と比較しながら、埋め立て予定箇所や取り付け道路の整備予定地についても併せて現地確認しました。この現地確認を通して、すばらしい荘川町の自然環境を守り続けていくことの必要性や、水源利用への影響について、今後も継続して調査・研究が必要であることを再確認したところです。

また、「岐阜県産業廃棄物処理施設の設置に係る手続きの適正化等に関する条例」について、制度内容の理解を深めることが大切であると考え、全員で詳細にわたって内容の把握に努めました。

条例には、「事業者は事業計画に関する情報を関係住民に事前に周知すること」を義務づけるとともに、「関係住民には周辺地域の生活環境の保全に関する意見を述べる機会を設けること」などを明記しており、この重要性を改めて委員間で確認しました。

#### 今後の調査と発信

客観的な調査を積み上げて、議会として精度の高い意見表明を行うことを任務とする当委員会は、市民の代弁者として地域に寄り添い、市民意見をどう表現するか、実効性のある方向性を打ち出せるかという結果を求められる特別委員会であり、責任は重いと受け止めています。また、この課題を荘川地区だけの問題として捉えるのではなく、全市的な問題として市民の皆様の理解を得るだけの材料・裏づけをもった発信が必要であると考えています。

そのために、

- ・技術的なこと  
処分方法や処理技術・断層や盛り土の安全性・周辺の土壌・水源の問題・積雪寒冷地での産廃処分・廃棄物運搬による影響
- ・法律的なこと  
県の手続き条例、住民投票条例
- ・風評被害ほか  
地域の生業(そばや漁業)への影響等
- ・他自治体議会との連携

などの調査が必要であり、より専門性が高い部分については、専門的な知見を有する方の助言も必要になると考えています。



## 常任委員会の紹介

### 総務環境委員会

#### ●委員会の取組方針

行政経営、環境分野、消防分野などの所管を担当し、今年度は、新ごみ処理施設建設に向けた取り組みを確認します。また、SDGs未来都市として持続可能な地域社会を進めるため、生活者に寄り添った政策議論など責任ある委員会活動や議案審査を行います。

#### ●主な政策課題とその対応

- ・ デジタル技術を活用し誰にもやさしい市民の利便性向上に向けたDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進・自然環境に配慮した先進的な環境モデルとなるような地域づくりに向けた環境政策
  - ・ 市、民間などが共同出資した第三セクターの今後の対応
  - ・ これまで政策提言した、ごみの減量化の推進及び指定管理者制度の提言後の検証など
- 以上の調査研究を進めます。



渡辺委員 岩垣委員 沼津委員  
松林委員 石原副委員長 山腰委員長 伊東委員

### 福祉文教委員会

#### ●委員会の取組方針

所管である市民活動部、福祉部、市民保健部、教育委員会における政策課題について重要調査項目を設定し、関係団体等との分野別市民意見交換会や先進地視察等を実施し、政策提言に繋げる活動を進めます。また、議案審査等は独自の調査・データ収集を行い熟議になるよう努めます。

#### ●主な政策課題とその対応

- ・ 子ども・子育て、高齢者、教育、文化芸術、市民活動の各事項の中から政策提言に向けた最重点項目を設定します。
- ・ 提出済みの政策提言、市民意見交換の追跡調査を進めます。



小井戸委員  
中箴委員  
車戸委員  
中谷委員  
水門委員  
倉田委員 上嶋副委員長  
榎委員長

### 産業建設委員会

#### ●委員会の取組方針

本委員会は、産業経済部門を担当する農政部・林政部・商工労働部・飛騨高山プロモーション戦略部と、基盤整備部門を担当する建設部・都市政策部・水道部を所管しています。低迷が続く稼ぐ力の回復と、未来へ向けた持続可能なまちづくりに取り組みます。また、今年度は、多様な所管事項や聴取した市民意見から重要なテーマを抽出し、調査研究項目を定め政策提言につなげます。

#### ●主な政策課題とその対応

- ・ アフターコロナに向けた観光振興と特色ある地域振興策に向けて調査分析を進めます。
- ・ 一次産業と観光政策との連携、林業振興と環境政策について自然エネルギー活用との関連性を調査します。
- ・ 高山駅西地区の整備や高山市を取り巻く道路問題、今後の上下水道の料金体系について調査します。



笠原委員 橋本委員 西本委員  
松山委員 西田副委員長 中田委員長 谷村委員



## 議会運営委員会

### ●委員会の役割と権限について

議会運営委員会は、2名以上で構成する会派から委員を選出し議会を円滑に運営するための協議機関であり、上程議案の審査を付託する委員会や定例会の日程などを決定し、これらに沿って議会全体の合意を得て議会運営をスムーズに進めます。また、議長の諮問機関としての性質も兼ね備えており、諮問内容について方向性を模索し、その結果を議会全体の共通認識として合意を図ります。委員会の主な任務は「議会運営に関すること」「会議規則や委員会条例、議会基本条例の改正」などについての責務を負う機関であり、委員会内の意思決定は、できる限り全会一致となるよう互譲に基づく合意が基本となります。ただし、やむを得ず全会一致が整わない場合は、2名以上の賛同者を前提に発議する権利は議員に与えられています。



沼津委員 車戸委員 中茂委員  
橋本委員 岩垣委員長 西本副委員長

### ●今年度の課題は

昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、万一議会内で感染者が確認された場合に委員会の定足数を満たすための方法として、オンライン委員会が開催できるよう条例改正を行ないました。しかし、現在オンラインによる本会議の開催は国で認められていません。そのため大規模災害時や更なる感染症等拡大により、本会議開催時に出席議員が不足し定足数に満たない場合に、いかに議会を開催し、どう全体合意を得て議会を継続できるのかなど「災害時BCP(業務継続計画)」の策定が喫緊の課題です。今年度は市民意見を聴取しながら「災害時BCP」の策定に取り組みたいと考えています。議会の開催が成立しなければ災害時などの緊急予算も決定できず市民生活に多大な影響を及ぼしかねない重要な案件です。

また、議会運営委員会は、「議会基本条例推進協議会」の第一分科会の役割も担っており、災害時のBCPの他に「議会評価の内容精査」「議長任期」などについて、解決のための方向性を調査研究し、市民意見を踏まえ議会の全体合意を得て対応したいと考えています。

## 広報広聴委員会

### ●委員会の役割

令和4年3月に、次の改選期は現状の定数24人という議員定数についての報告をさせていただきました。それまでの2年間に及び議論と有識者からの指導や助言、市民の皆さんからの意見を踏まえて結論を出しました。

高山市は広大な市域を抱える特別な地域形成となっており、交通、医療、福祉、介護、買い物など、その利便性や上質なサービスを提供できる環境にも大きな格差があり、自家用車による支所地域から市街地への移動時間は1時間以上を要するところが少なくありません。こうした状況の中で、今後も各地域が持続可能な発展ができ、固有の歴史や文化といった未来に受け継がれるべき重要な個性と特質を維持し、生活環境を充足できるようにするためには、議会としてもっと現場の意見を聴くなど様々な努力が求められています。

また、少子高齢化の加速が顕著であり、若者世代が市街地あるいはその近郊に住まいを構えるケースも増えています。このような状況の中で、「市民とともに考える議会」というスローガンを掲げたからには、広報広聴委員会はこれまでの下調整的な役割だけでなく、委員会が主体となって「市民とともに考える」ための手段の見直しを行うなど期待に応えることが求められています。

更なる出発点と役割を再検討して、その方向性を導き出せるように努めます。

### ●本年度の取組紹介

まだまだウィズコロナの状況から抜け出せず、先の見通しが定かではありませんが、以前のような市民の皆さんとの対面による対話を通じ広聴機能の充実を図る必要性を感じています。委員会では、議会広報誌の発行や議会モニターの皆さんとの意見交換、市民意見の常任委員会への振り分けを引き続き実施するとともに、市民意見交換会に新たな工夫を加え開催することや、高校生との意見交換会では、参加される各高校のスタイルに合った対応を図るなど実施方法の見直しを行っていく予定です。

広報広聴活動を更に充実させるためには、当委員会の位置づけを見直すことや広報広聴機能を強化する必要があるなど問題意識を深めております。「市民とともに考える議会」の責任を果たすため、本年度中には新しい方針を明確にしたいと考えています。



石原委員 西田委員 中谷委員 西本委員  
上嶋委員 松林副委員長 谷村委員長 小井戸委員

## 産業廃棄物最終処分場計画調査特別委員会

### ●委員会の役割

荘川町に計画されている産廃処分場建設計画について、客観的な調査を積み上げ、議会として意見表明を行うことを任務として、昨年12月議会において設置が決定されました。

荘川町の皆さんの不安に寄り添うとともに、全市的な課題として市民の皆様の理解を得られるだけの材料・裏づけを提示できるよう機動的に調査を進めてまいります。



倉田委員 山腰委員 沼津委員 石原委員 笠原委員  
中田委員 中箴委員長 中谷副委員長 松山委員

### ●年間活動計画に挙げた取組

これまでに、荘川町の対策委員会の方々との意見交換や計画予定地の現地確認、正副委員長による庄川流域自治体の議会への訪問活動など、精力的に取り組んできました。

今後は、さらに調査の精度を高めるために、

- ・他都市における同様な事例への対応についての研究
- ・現在稼働している産廃処理施設の現状と課題についての視察・調査
- ・技術的なことや法制面など、専門的な知見を有する識者の参考人招致などに取り組む予定としています。

## 政務活動費の報告

政務活動費とは、地方自治法第100条第14項及び第15項の規定に基づき、議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として交付されるもので、高山市議会では議会における会派（無会派の場合は個人）に対して、所属議員数に20万円を乗じた額が1年間の交付限度額として交付されます。なお、高山市議会は前もって交付するのではなく、後払い（精算払い）制を採用しています。

### 令和3年度 政務活動費交付実績

(単位：円)

項 目	創政・改革クラブ	高山市政クラブ	斐翔・自民クラブ	たかやま自民クラブ
調 査 研 究 費	521,192	309,472	329,715	0
研 修 費	0	71,020	1,045	0
資 料 作 成 費	157,072	160,894	0	30,770
資 料 購 入 費	23,424	0	0	0
合 計	701,688	541,386	330,760	30,770
所 属 議 員 数	4人	8人	3人	11人
(参考) 一人当たり交付額	175,422	67,673	110,253	2,797

※清和クラブ、山腰議員（無会派）、上嶋議員（無会派）、小井戸議員（無会派）、中箴議長（無会派）は、政務活動費の支給はありませんでした。

※会派の変更により高山市政クラブ、斐翔・自民クラブは2月16日までの実績、たかやま自民クラブは2月17日以降の実績となります。

調査研究費：会派等が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費

研 修 費：会派等が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費

資料作成費：会派等が行う市政に関する調査研究に必要な資料の作成に要する経費

資料購入費：会派等が行う市政に関する調査研究に必要な図書、資料等の購入に要する経費

市議会ホームページでは、政務活動費の領収書の写し、政務活動費で行った視察・研修報告書を公開しています。政務活動費の領収書等は、議会事務局で閲覧できます。

市議会ホームページ  
政務活動費へ





## 令和3年度の地域別 市民意見交換会は

議会では、令和3年11月29日から令和4年2月22日にかけて、行いました。

今回のぎかいだよりでは、議員定数の関係以外でいただいた

### 1 人口減少対策

市民

・高山市は、合併当時より人口が減少している。人口減少に対する対策は必要であるため、他市の対策を参考にしてほしい。

・高山市は、岐阜県内で移住者が一番多い自治体です。また、令和3年度から移住を検討している人が移住後に地域で安心して生活ができるよう、移住者と地域を橋渡しする高山市移住コーディネーターを設置し、移住者の支援を行っています。さらに移住者が増え、定住につながるよう魅力あるまちづくりや環境整備について調査研究します。

議会

### 2 防災

市民

・自然災害を未然に防ぐ対策の発案があってもいいのではないかと。  
・昨年7月の豪雨で宮川防災ダムがオーバーフローしかけた。今後、想定外の降水量となった場合、下流域で大水害が起きるのではないかと。また、安全のためにも機能強化が必要ではないかと。



・自然災害を未然に防ぐには、防災情報の多様化により的確に情報伝達することや各地域での自助・共助を主体とした地区防災計画の策定で命を守る一層の取組の推進、インフラの予防的整備による安全対策などが求められます。さらなる防災対策の強化推進の取組について議論を深めます。

議会

### 3 公園整備

市民

・子どもが安心して遊べる魅力ある公園が欲しい。



・令和2年度の福祉文教委員会が公園のあり方に関する政策提言を行っています。市は今後の施設のあり方、配置計画及び新たな公園整備について考え方を整理することとしています。

議会

### 4 観光・労働

市民

・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観光業は大打撃を受けている。いろいろ手は打っていただいているが今後も継続してほしい。

・滞在型の観光メニューの造成を強く意識しながら、緊急経済対策における助成制度も継続していくよう働きかけます。

議会

市民

・地元へ帰郷しようとしても就職先がない。企業誘致を進め、若者が帰郷したくなるようなまちづくり、働く場所の充実を。



・若者が帰郷したくなるためには、時流を踏まえた多様な職種の創出と所得水準の向上、社会保障制度の充実等により将来不安を和らげる方策を検討する必要があります。企業誘致は、日本経済の動向もみながら進めていくことが必要であると考えます。そうした環境が早く実現できるよう、産業・観光施策についても充実させていきます。

議会



# 地域別市民意見交換会

議員定数についてを中心に地域別市民意見交換会等で意見聴取を  
ご意見について、議会の考えを掲載します。



## 5 高齢者福祉

市民

・支所地域では、高齢化率の上昇や運転免許の返納が進んでいる中で、食料品や日用品などを販売する地域の店舗が減少している。今後、さらに買い物が困難になっていくこととなるが、買い物支援対策を進めてほしい。



・生活必需品の購入が困難となることは、大きな課題として受け止めています。移動販売を取り扱う事業者には努力していただいておりますが、移動販売の拡大が必要であると考えます。  
また、公共交通機関の整備などの面からも買い物支援に関する調査研究を進めます。

議会

市民

・支所地域では少子高齢化が深刻化している。ヘルパーに従事する人も減っていることから、高齢者の家族や独居の方々の支援を真剣に考えていかなければならない。



・支所地域で不足している訪問サービスの提供を促進するため、今年度から支所地域訪問サービス確保事業が始まりました。事業の実施状況を見極める中で、支所地域における訪問介護の充実を求めます。

議会

## 6 公共交通対策

市民

・高齢者や車の運転が困難な方のために、病院や買い物等の交通手段の充実を望む。また、バスやタクシー代の補助を。



・支所地域では、医療や生活物品の提供が困難な状況が顕在化しています。補助制度もありますが、サービス提供事業者への支援についても調査研究します。

議会

### 議会の考えの掲載

議会では地域別市民意見交換会等でいただいたご意見を、所管する常任委員会等に割り振り、回答を検討し、全議員で確認する場（全員協議会）を経て、主なご意見に対する現時点での市議会の考えとして取りまとめました。

今号では抜粋して掲載しています。一覧表形式のまとめは、市議会ホームページをご参照ください。



市議会ホームページ  
R 3 地域別市民意見交換会



## ぎかいだよりの表紙写真を募集しています

市民の皆様にも議会広報紙がより身近なものとなるよう「ぎかいだより」の表紙写真を募集しています。

募集要項は、市議会ホームページでも確認できます。また、お問合わせにより、事務局から募集要項などを郵送(ファックス)させていただきます。応募は、個人に限らず、団体や学校等で撮影いただいたものでも可能です。(詳しくは募集要項を参照ください。)多くのご応募をお待ちしています。

◆次号令和4年11月1日発行のぎかいだより第49号の表紙写真の募集締切は**令和4年10月7日(金)**です。



### ◆申し込み・問合わせ

高山市議会事務局 TEL 0577-35-3152 FAX 0577-35-3170  
mail:gikai@city.takayama.lg.jp

## 令和4年 高山市議会 9月定例会日程(案)

開会日	曜日	会議内容		場所
9/2	金	午前9時30分	本会議 (提案説明、質疑、委員会付託)	議場
6	火	午前9時30分	本会議 (提案説明、質疑、委員会付託)	議場
9	金	午前10時	一般質問通告締切	
12	月	午前9時30分	常任委員会 (議案を付託された委員会)	各委員会室
14	水	午前9時30分	本会議 (一般質問)	議場
15	木	午前9時30分	本会議 (一般質問)	議場
16	金	午前9時30分	本会議 (一般質問)	議場
		本会議終了後	議会運営委員会	全員協議会室
21	水	午前9時30分	総務環境委員会	全員協議会室
22	木	午前9時30分	福祉文教委員会	全員協議会室
26	月	午前9時30分	産業建設委員会	全員協議会室
27	火	午前9時30分	予算決算特別委員会	全員協議会室
28	水	午前9時30分	予算決算特別委員会	全員協議会室
29	木	午前9時30分	予算決算特別委員会	全員協議会室
30	金	午前9時30分	本会議	議場

このマークが付いている日はインターネット・ケーブルテレビで中継します。



### 編集後記



高山市出身の偉大なる方々がおみえになります。日枝神社境内の正面にある賽銭箱口には形が変わって見える「立体錯視」が設置されています。立体錯視の研究分野では世界の第一人者とも言える、明治大学・研究特別教授の杉原厚吉先生の作品です。具体的には「イチヨウ葉型模様」が実体として見えていますが、90度に置いた鏡に映る模様は「ひし形模様」なのです。

私たち議会人と議事機関としての議会の重要な機能は、「行政監視」と「政策提言」です。どのように物や者を見ているのか、正しく見えているつもりでも、時には角度を変えれば、違うものに見えるのです。まさに「錯覚」することもあります。社会情勢も先が見通しにくい環境であり、偏らず欲過ぎることなく、広大な市域への実体的な目配りすることを第一優先に取り組まなければならないと考えます。平面では錯覚はなくても「立体」的に捉えれば錯覚することに気づいていかなければなりません。



日枝神社境内 賽銭箱

